

# 武蔵野クリーンセンター 運営協議会だより

2012.3.31 NO.51

新武蔵野クリーンセンターの検討  
安心・安全な施設づくりを  
環境フェスタ報告  
クリーンセンターの放射能測定12～2月  
information

発行／武蔵野クリーンセンター運営協議会  
武蔵野市緑町3-1-5  
武蔵野クリーンセンター内  
電話 0422-54-1221

## 新武蔵野クリーンセンターの検討 経過報告 安心・安全な施設づくりを

### 建設に求める条件「実施方針」を決める

平成23年10月にスタートした「新武蔵野クリーンセンター(仮称)事業者選定委員会」は、これまでに3回の委員会を開催し、事業者選定手続きの第一歩となる「実施方針」を検討してきました。

実施方針とは、「民間事業者の能力等の活用を図るにあたり、事業を発注する前に、事業内容と発注条件をまとめた実施方針を公表し、民間事業者からの質問及び意見等の聴取を行う」ものです。

この実施方針に書かれている事業者選定の大きな特徴は、まず「DBO(デザインビルドオペレート)方式の採用」です。DBO方式は、施設の整備と運営を一括して発注し、運営については20年間の長期複数年にわたり包括的に委託する事業方式です。そのことにより、民間事業者のノウハウや技術を活用し、コストの縮減も図ります。

次に選定方法は、「総合評価一般競争入札」で実施することです。価格だけで選定するのではなく、技術提案と合わせて総合評価し、落札者を決定するものです。

3月30日より「実施方針」をクリーンセンターホームページで公表し、4月20日まで入札参加予定者等に意見を求めます。

平成29年度稼働を目指し、より安全、安心な施設の建設に向けて、最新鋭のごみ処理装置、景観にマッチした建築デザインなどを提案してもらうための入札参加者を7月に募集します。提案面・価格面を総合的に審査し、落札者を決定します。

### <事業者に求める提案のポイント>

- ①環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり
  - ▶全国で最も厳しい排ガス基準をクリアする焼却処理設備とごみ発電効率の高いシステム
  - ▶地球温暖化対策に寄与する施設として、ごみ発電の導入、新エネルギー(太陽光発電等)の採用、屋上緑化等を重視する
- ②災害・地震に強い施設づくりを目指すため、建築設備の耐震性能を耐震基準の1.25倍とする
  - ▶災害時に炉を安全に停止し、安全を確認後、すみやかに炉を立ち上げ、ごみ発電を稼働させることのできるシステムの導入
- ③景観及び建築デザインに配慮した施設づくり
  - ▶景観に配慮し緑豊かな、開かれた施設づくり
- ④地域社会と暮らしに配慮した施設づくり
  - ▶地域社会や地元企業への貢献、環境学習等のサービス提供、ユニバーサルデザインへの配慮

### ●事業者決定までの流れ

2012年(H24)

3月 実施方針の公表

4月 入札参加予定者等の意見、質問の受付

7月 入札公告

11月 提案書の提出、基礎審査

2013年(H25)

1月 提案内容ヒアリング

2月 落札者決定

6月 本契約(事業者決定)

※事業者の決定後、設計をして準備工事を行い、

2014年(H26)4月より工事着工。

# 新武蔵野クリーンセンター（仮称）第二期 施設・周辺整備協議会検討経過 地域になじみ、市民に親しまれる建物に

平成23年9月よりスタートした「第二期施設・周辺整備協議会」は、これまでに4回の協議会を開催し、前半の議論の柱である新クリーンセンターの工場部分、「エコセンター（仮称）」の建築デザインについて検討してきました。

必要な条件や市民参加の今までの検討を踏まえて、新しいクリーンセンターは、外から見た人に「この地域に住みたい」と言ってもらえるデザインをめざし、建築デザインイメージをつくりました。今後は事業者選定の中で、入札参加者により提案を求めていくところです。

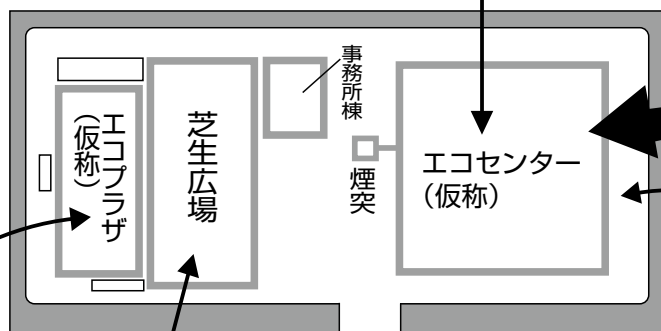
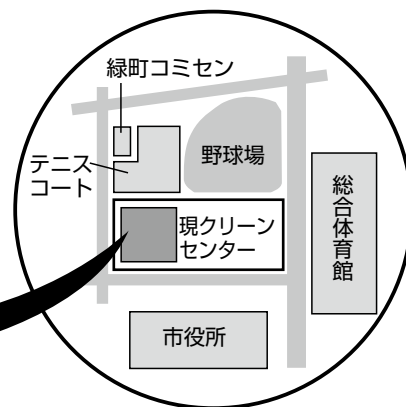
## <新クリーンセンターの配置図>

### 全体にコンパクトな施設

建物の高さは現施設の高さである 20m 以下とし、地下化も含めて、コンパクトな施設を考えています。

### エネルギー供給型の処理工場

廃熱を可能な限り発電などに再利用します。



中央通り側は見通しよくなり、ピットを見られるのぞき窓も

中央通り側の部分はごみ収集車が入るプラットフォームを地下にし、地上部をフラットにしました。これにより中央通り側は、見通しのいいスペースになります。ここでは、ごみピットに投入する収集車が見えるのぞき窓があります。また、プラットフォームを地下化することで臭気対策にも役立ちます。

### 環境啓発施設

現在の事務所棟とプラットフォームを再利用します。

### イベントもできる広場

足湯などを設けた市民の憩いの場にしたいと考えています。

### エコセンター（仮称）のデザインイメージ

### 気軽に工場見学ができて、エコプラザ（仮称）につながるデッキ

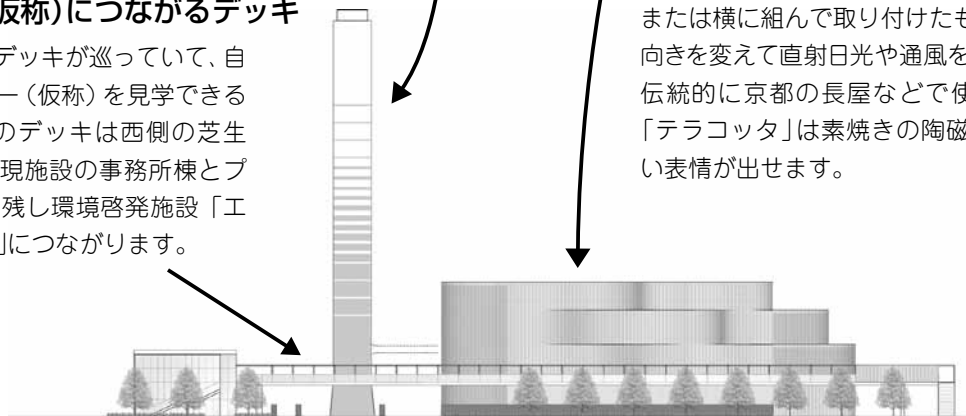
2階部分は周囲デッキが巡っていて、自由にエコセンター（仮称）を見学できるところです。このデッキは西側の芝生広場を介して、現施設の事務所棟とプラットフォームを残し環境啓発施設「エコプラザ（仮称）」につながります。

### 既存煙突を再利用

現在の煙突を補強して再利用。デザインは今後の議論としました。

### やわらかい表情の建築デザイン

建物のデザインは、市役所のレンガ調タイルと調和を図り、かつ工場らしく見せないため、全面をテラコッタルーバーで仕上げます。「ルーバー」は壁や天井の開口部に、羽板を縦または横に組んで取り付けました。羽板の向きを変えて直射日光や通風を加減するもので、伝統的に京都の長屋などで使われています。「テラコッタ」は素焼きの陶磁器で、やわらかい表情が出せます。



<市役所側から見た立面図>

# 「むさしの環境フェスタ」に参加 今こそライフスタイルを見直そう！ —未来の子どもたちのために

2011年(平成23)11月6日(日)に、環境対策課・クリーンセンター・ごみ総合対策課の共同開催により、武蔵野クリーンセンターで「むさしの環境フェスタ」が開催され、約1100名の来場がありました。今回初めて運営協議会も参加させていただき、「おもちゃのかえっこ」「エコトレインむさしの号」「工場見学」をお手伝いしました。



**環境に関する展示** 市内の環境に関する35団体に参加。各ブースでは活動をていねいに説明し、来場者に「省エネ」「自然環境の大切さ」「ごみの減量」等をアピール。



**工場見学** 展示会場を楽しんだ後、多くの親子連れが工場見学に参加。大きな機械を間近で見て、「わあ、火が真っ赤に燃えている」「ごみを処理するのは大変なんだね」等と会話がはずみました。



**エコトレインむさしの号** 雨天のためピット内の展示会場で走行。スタンプラリーのカードを手にした親子が長蛇の列をつくり、やっと乗ったトレインが動き出すと子供達の歓声があがりました。



**おもちゃのかえっこ** 自分のおもちゃと好きなおもちゃをとりかえっこ。開始とともにおもちゃを抱えた親子がなだれ込み、受付は品定め・数の確認・スタンプ押しと目が回る忙しさ。まさにおもちゃ箱をひっくり返した状態でした。子供達はおもちゃを交換して新たな喜びを味わい、物の大切にする気持ちも芽生えたようです。

## クリーンセンターの放射能測定報告 12～2月

前号に引き続き、12月～2月のクリーンセンターの放射能測定結果を報告します。

昨年8月に二ツ塚の東京たまエコセメント化施設は、日の出町と焼却灰の取り扱い特別協定を結び、搬入するごみ処理工場は月一回放射能濃度の測定を義務づけられました。結果が8000ベクレル以下ならエコセメント化施設で受け入れ、超えればごみ処理工場の敷地内に保管することになります。武蔵野市の焼却灰は、従来通りエコセメント化施設に搬入しています。

「主灰、飛灰、排ガス、汚泥、放流水」の放射性物質濃度と、敷地境界「東西南北4か所」における空間放射線量の測定結果(右表)をご覧ください。12月12日以前の結果は、ホームページでご覧になれます。

放射性物質濃度 測定結果 単位: Bq/kg(ベクレルパーキログラム)

測定日	2011.12.12		2012.1.16		2012.2.17	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性ヨウ素	放射性セシウム
主灰(焼却灰)	不検出	92	不検出	121	不検出	77
飛灰(固化後)	不検出	1,504	不検出	1,570	不検出	1,139
汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
放流水	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
排ガス	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

放射性ヨウ素…ヨウ素131 放射性セシウム…セシウム134と137の合計値

空間放射線量 測定結果 単位:  $\mu$ Sv/h(マイクロシーベルトパーアワー)

測定日	2011.12.12	2012.1.16	2012.2.13
地上高さ1m	0.07～0.09	0.07～0.09	0.07～0.10
5cm	0.08～0.11	0.08～0.10	0.07～0.11

敷地内の東側、西側、南側、北側の4カ所で測定。

参考:「福島県内の災害廃棄物の処理の方針」環境省 敷地境界の東側、西側、南側、北側の4箇所を測定した値。

参考:「福島県内の災害廃棄物の処理の方針」環境省 放射性セシウム濃度(セシウム134とセシウム137の合計値。以下同じ)が8,000Bq/kg以下である主灰、飛灰は、一般廃棄物最終処分場(管理型最終処分場)における埋立処分が可能です。放射能セシウム濃度の目安8,000Bq/kgは、埋立作業者の安全も確保される濃度レベルであります。

## バス研修会の感想

●今年環境・エネルギー・情報通信等先端技術を身近に体験できる東芝科学館と、人気のしながわ水族館を見学。東芝科学館は、静電気発生装置にさわると髪の毛が逆立つ体験、超伝導により車輪無しで動くリニアモーターカーのしくみの紹介、テレビの中に飛び込んだような体験等、大人も子供も大喜びでもっとゆっくり見たいと言う声が多数ありました。

しながわ水族館では、水生生物の展示の他に、トンネル水槽の中から泳ぐ魚を見上げて海中散歩を味わったり、ダイナミックで楽しいイルカショーとアシカショーを堪能。春休みに子供達を連れて行けば大人を見直すかも！（吉祥寺北町 早川）

●東芝科学館では…手巻きハンドルの電気洗濯機は、昔懐かしいお袋の後ろ姿を思い出しました。静電気の発生体験は、子供の髪の毛総立ちに歓声が上がって愉快でした。高速ストロボ映写による、子供の投球シーンを見て、投球術の上達に効果があるので、ゴルフ練習場に設置したらいいなと思いました。

水族館では…イルカのかわいい芸に感動。調教師の愛情豊かで粘り強い行動にも感心しました。手を入れると寄ってくる魚には、かわいさよりも何か不気味な感じがしました。見学後は、水族館の外にある池を望むレストランで疲れを癒しました。（緑町三丁目 越智）

●お手軽な参加費で、いろいろな体験ができて楽しかったです。イルカやアシカのショーは、子供たちにとって初体験だったので大喜びでした。バス研修以来、クリーンセンターが身近になり、その後の環境フェスタにも行きました。（緑町 2-3 緑町パークタウン 塩田）

## ●クリーンセンターの人事異動

氏名	新	旧
和地 稔	クリーンセンター 所 長	副参事兼クリーンセンター 建替え準備担当係長事務取扱
木村 浩	新クリーンセンター 建設担当課長	クリーンセンター 所 長

平成 23 年 10 月 1 日付

## ●訂正とお詫び

「運営協議会だより 50 号」3 ページの施設・周辺協議会の構成メンバーの表で、新垣俊彦氏は、緑懇話会ではなく、関係市民団体のくくりになります。

お詫びして訂正いたします。

## バス研修会

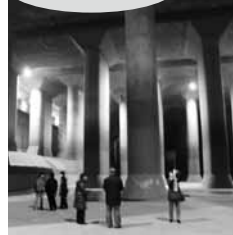


デジタル技術により、海の中へひとつ飛びです。（東芝科学館）



アザラシ館の水槽トンネルは、まるで水中散歩気分。（しながわ水族館）

## 委員研修



水害対策でつくられた地下の巨大な空間に圧倒されました。（外郭放水路）



高さ 100m の煙突を見上げ、その大きさを実感しました。（ふじみ衛生組合）

滅多に見られない現在建設中の施設を見学。

## 平成 23 年度 運営協議会活動報告

### 平成 23 年

- 4/22 第 180 回運営協議会会議開催
- 5/27 第 181 回運営協議会会議開催
- 6/28 臨時運営協議会会議開催
- 7/20 臨時運営協議会会議開催
- 8/24 第 182 回運営協議会会議開催
- 9/30 「運営協議会だより」第 50 号発行
- 10/5 第 183 回運営協議会会議開催
- 10/29 バス研修会実施 参加：92 名  
\* 東芝科学館（神奈川県川崎市）  
\* しながわ水族館（東京都品川区）
- 11/6 第 4 回むさしの環境フェスタに協力参加
- 12/13 第 184 回運営協議会会議開催  
市長との意見交換会

### 平成 24 年

- 2/7 委員研修実施  
\* 首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市）  
\* 流山市クリーンセンター（千葉県流山市）
- 2/14 第 185 回運営協議会会議開催
- 2/24・27・29 3/2・5・7  
環境健康診断実施 受診者：184 名
- 2/26 委員研修実施  
\* ふじみ衛生組合（調布市）
- 3/31 「運営協議会だより」第 51 号発行

## ●編集後記

昨年は、東日本の大震災や原子力発電所の事故など、大変な年でした。本年は、新クリーンセンターの計画もさらに進みます。地元によさしく、地域住民が満足するような施設になりますよう、そして今年は穏やかな年になることを願っています。（高橋健一）